

きれいな海にするためにできることを考えてみよう!

海洋ごみが問題になっている理由がわかったかな? このままでは、2050年には魚よりも海洋ごみの方が量が多くなると言われています。人間がごみをたくさんすててしまうことで、海の生き物たちが苦しんでしまう。それは最終的には、人間の健康や生活にもえいきょうをおよぼしてしまうかもしれないとても大変な問題なんだ。未来にきれいな海を残すため、みんなにはどんな行動が取れるか考えてみよう。



一人一人の行動で、海の未来が変わっていくよ。

海岸はもちろんのこと、町もきれいにすることが海にごみをあふれさせないために大切なんだね! ぼくも町の人たちがやっている清そう活動に参加してみよう!



確かにプラスチック製品は便利だけど、なるべく使う量を減らすように気をつけることが大切ね。わたしも早速、ペットボトルじゃなくて、マイボトルを持ち歩くようにしてみるわ。

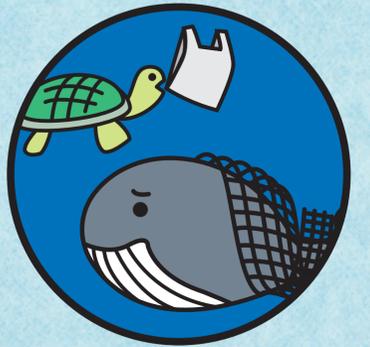


アンドリーくん と ラブリちゃんの

海とごみのおはなし



海の未来のために、わたしたちができること



今、世界じゅうが
大変なことが
おこっているよ!!!



たくさんのごみによって、海の生き物たちが苦しんでいます。みんなは海で何が起きているか知っているかな?

あけてみてね!

アンドリーくん と ラブリちゃんの 海とごみのおはなし

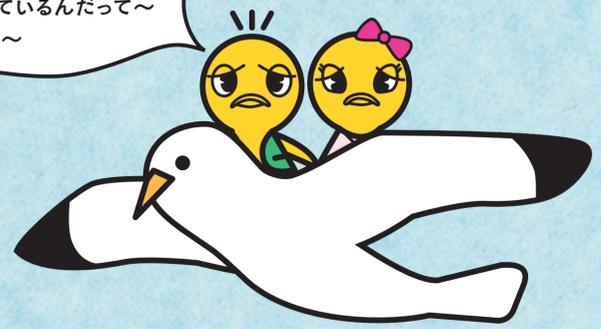
海の未来のために、わたしたちができること

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団



町中のごみが
海へ流れ出ている?

日本の海も、
人間がすてたごみで
汚くなっているんだって～
悲しいな～



たばこも
海に流れ出ると
ずっと残って
しまうよ!
ポイすてダメ!!

ピクニックや
バーベキューで
出た浜辺のごみも
川の増水や風が
ふくことで海に
流されてしまうよ!

海洋ごみって 知ってる?

みなさんは、海岸に行ったことがありますか? その海岸はきれいでしたか? きれいに見えていても、海岸には日々さまざまなごみが流れ着きます。海洋ごみの多くは陸地で発生したごみで、川や水路を通して海にたどり着いたと言われています。

漂着ごみ
海岸に
流れついたごみ



みなさんが日常で使っているペットボトルやおかしの袋などがごみとして海岸に流れ着いています。特にプラスチック製品が多いです。

漂流ごみ
海面や海中を
ただよっているごみ



カヌーやヨットなどで、海に出たことがある人は、ペットボトルやレジ袋などが海にただよっているのを見たことがあるかもしれません。

海底ごみ
海底にしずんで
たまったごみ



海に出たごみはひょう流するだけでなく、海底にしずむものもあるため、海底には多くのごみがたまっています。

みんなの海が危ない!!

わたしたちが出したごみで海がごみだらけ!

一人が一日に出すごみの量は1kgとも言われています。ポイすてがダメなのはもちろんのこと、きちんと分別して、ごみ置き場にすてたつもりでも、風がふいて飛ばされたり、カラスに散らかされたごみが川などを通じて、やがて海にたどり着きます。そのごみが海にあふれかえって、世界中で海洋ごみが大変な問題になっています。

**危険なごみ!?
海洋生物への影響**

海の生き物はごみを見分けることができません。そのため、海の生き物は飲み終わったペットボトルや海に流された釣り糸、あみなどの漁具にきずつけられたり、ビニール袋をクラゲとまちがえて食べてしまうなど、最悪の場合は死んでしまうこともあります。人間がすてたごみのせいで海の生き物が死んでしまうなんて悲しいですね。

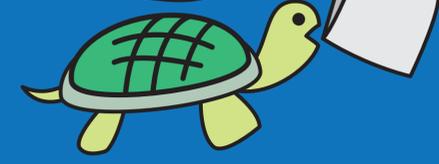


**小さな凶器!
マイクロプラスチック**

レジ袋やおかしの袋、ストロー、ペットボトルなどのプラスチック製品は自然界で分解されることがむずかしく、いつまでも環境の中に残ってしまいます。また、プラスチックが川や海に流れ着くと細かく砕けてしまいます。その小さくなったプラスチック(5mm以下)を「マイクロプラスチック」と言いますが、マイクロプラスチックは、海に住む生き物がエサとまちがえて食べてしまうことで、こきゅうができない状況や病気になってしまいます。また、マイクロプラスチックを食べた魚を知らずに人間が食べると、人間の健康にも悪いえいきょうをおよぼすかもしれず、大きな問題になっています。そのため、例えば、買い物にはマイバックを持って行くなど、プラスチック製品をなるべく使わないようにすることが大切です。



これは何だろう?
食べ物かな?
食べてみよう～



マイクロプラスチックは
ぼくたち魚の口にも
入ってしまうんだよ!
そしてその魚を人間が
食べてしまうこともあるよ

